

令和4年度和光市立下新倉小学校 第4回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和5年2月27日（月）10：30～12：00

2 場 所 和光市下新倉小学校 第一会議室

3 出席者 山崎 すみ子 柳下 澄江 安藤 泰邦 福田 由佳
武田 直樹 西見 典子 藤原 啓 高橋 郁美

4 あいさつ

校長より：学校関係者評価を行い来年度の方向性を決めていきたいと思ひます。忌憚のないご意見をよろしくお願ひいたします。

5 協議内容

(1) 学校関係者評価について

○校長より説明

学校の組織運営

No.1 教職員は一丸となつて努力している。学校目標の「ほかほか」が浸透してきている。

No.2 安全安心については、コロナ禍ではあつたが、工夫を重ね計画した行事を成功させることができた。タブレット端末の活用により、学びも止まることがなかつた。教材費を口座引落に変更できたことで、会計事故を無くすことができた。

基礎学力の定着

No.3 今年度の埼玉県学力・学習状況調査の結果、伸ばしている子どもが多かつた。子どもたちはよく頑張っている。

No.4 教職員は、子どもたちの学力を上げるために改善に努めてきた。教職員の自己評価が高いのは、その表れである。保護者の評価が高くないことは、発信が不十分であつたのかもしれない。

No.5 学習ルールを確立しようとする教職員の意識が高い。教科担任制を部分的に導入し、学年全体で子どもたちを指導するようになってきている。学年主任には、他のクラスも目配りするように指導している。

規律ある態度の育成

No.6 No.7 規律ある態度については、子どもたちの姿を見て他校からきた教職員が素晴らしいと思えるほど身についている。教職員が普段から声をかけ、指導を工夫改善しているからである。

健康・体力向上

No.8 No.9 今年度、重点項目に取り上げた項目である。教職員が行事や委員会活動を改善したり、外遊びをしたくなる仕掛けや放課後学校の校庭に遊びに来たくなる仕掛けなどを行つてきたりした結果である。普段から意欲的に体育の授業に取り組んだり、休み時間に外であそんだりする子どもが多い。

ご意見・感想

- ①子どもを見ていると活動的ではないようだ。学校全体としては体力向上の目標を十分達成している。
- ②自分の子どもは外遊びが大好きである。
- ③コロナ以降、外で遊ぶことが難しくなり、家の中で遊ぶことが多くなったが、学校では外で遊ぶことができている。全体的に体力が低下しているが、今できることはやってもらっている。
- ④この地域には公園が少ないため、子どもたちの遊ぶ姿を見ることがない。近くの駐車場で遊ぶ姿を見るくらいである。
- ⑤運動会を参観しとても素晴らしかった。校外の体育的行事の成績からも体力向上していることがわかった。
- ⑥評価の数字だけ見るといまいちのようだが、学校は体力向上に取り組んでいる。子どもにもこれから体力が向上する伸びしろがあると感じた。

連携

No.10 今年度、重点項目に取り上げた項目である。主幹教諭が学校応援団の活動を再組織し、活発化させた。そのため、地域との接点が広がっている。学校運営協議会の機能のさせ方が弱かった。来年度は、地域や保護者の願いを吸い上げ、その中から目指す子ども像を共有していきたい。

ご意見・感想

- ①学校応援団が充実し、保護者連携ができた。しかし、自己評価があまり高くない点は、充実させたい課題があると感じた。
- ②地域と学校の乖離があるように思う。コロナ禍となり地域と学校のかかわりが薄くなっている。その中で学校はよく取り組んでいる。
- ③学校とのかかわりがあり学校がどのようなことをしているかわかっている。しかし、保護者には見えにくい方もいる。PTAからも何か発信できるとよい。
- ④通学班の見守りを地域の方も行っている。危険個所については、地域の方から学校へ連絡があり、そこから市へ連絡したことにより、解決したこともあった。コロナ前は地域の行事があったが、この3年はなくなってしまい、地域とのかかわりが薄くなった。
- ⑤学校運営協議会では、今できることや懸案となっていることなどを話し合えていると思う。
- ⑥コロナ禍で学校への出入りが制限され、地域の人には学校が見えにくくなっている。これからは、地域の人も保護者も進んで学校の教育活動を知ることが大切である。それぞれの立場で何ができるのか問いかけ、みんなで子どもを育てる時代だと理解することも大事である。

6 その他

- ①ストレスチェックの結果について
- ②NHK等の取材について